

文化財観光施設を活用した歴史体験 (大洲城での城主体験等)

— 提案書 —

2019年5月31日

文化財観光施設を活用した歴史体験検討委員会
(大洲市観光まちづくり課)

本資料はたたき台であり、今後検討委員会による修正を前提としたものです。

1 事実

1609年頃 脇坂安治統治の時代に現在の大洲城天守は建てられたとされる。(推定)

1617年 米子から加藤貞泰が入城した。(今から約400年前)

7月25日米子を出発。

引き連れた給人は132人。

8月5日に長浜に到着した。

庄屋23人が出迎え、道案内には町年寄・大和屋十左衛門が立った。

翌6日、**加藤貞泰は陸路を馬で大洲城に入った。**

(「積塵邦語」) 大洲市誌より



2 大洲城天守の特徴について

大洲城天守1階は、創建当時から畳敷きの可能性がある。

復元において、母屋境には敷居が入れられ、内法には鴨居と長押が入れられている。

また、**敷居と鴨居には建具が入るように溝が切られている。**

(復元報告書より)

3 所見(検討委員会による検証が必要)

象徴的な中心柱(通柱)の存在、吹き抜け構造の存在などから大洲城天守1階は戦国武将又は藩主にとって特別な空間であったことが推測される。江戸時代以降、天守は物見塔の役割であったり、権力の象徴であったりとされるが、**慶長期(1596-1615)の天守は実用的な要素を十分に備えていた**と考えられる。初期の大洲城天守においても実用的に使用されていたものと推測される。

具体的には、江戸初期の絵図「大洲御城地割」には、本丸に「御上」、「御風呂屋」とされる建物の表記があり、現存する「台所櫓」は「台所」と表記され、1階には土間や煙出し用の格子窓などがあることから炊事場、食料保管庫として機能していたことが推察される。**加藤貞泰が入城した当時は「御天守」と「御上」などを実的に使用し、往来した可能性がある。**

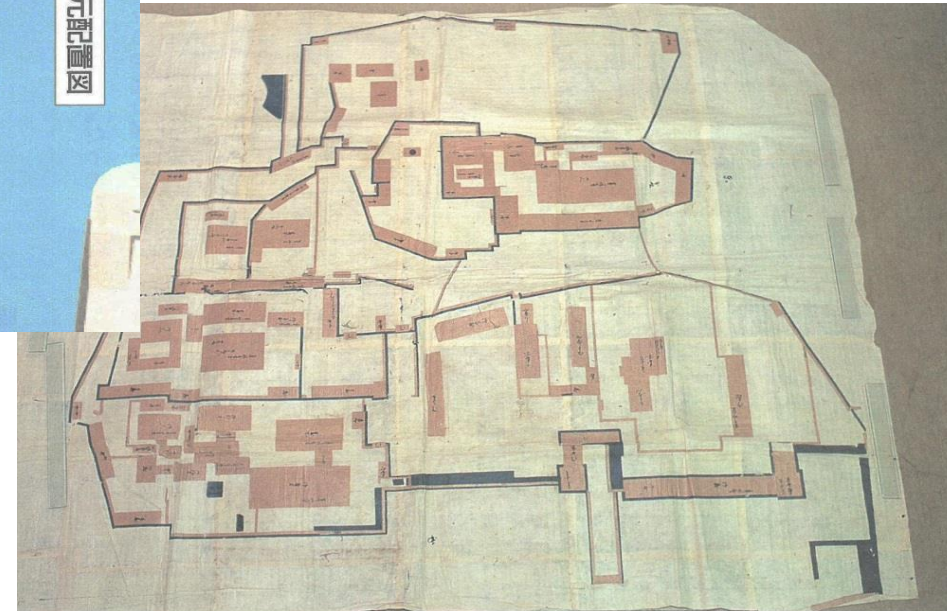
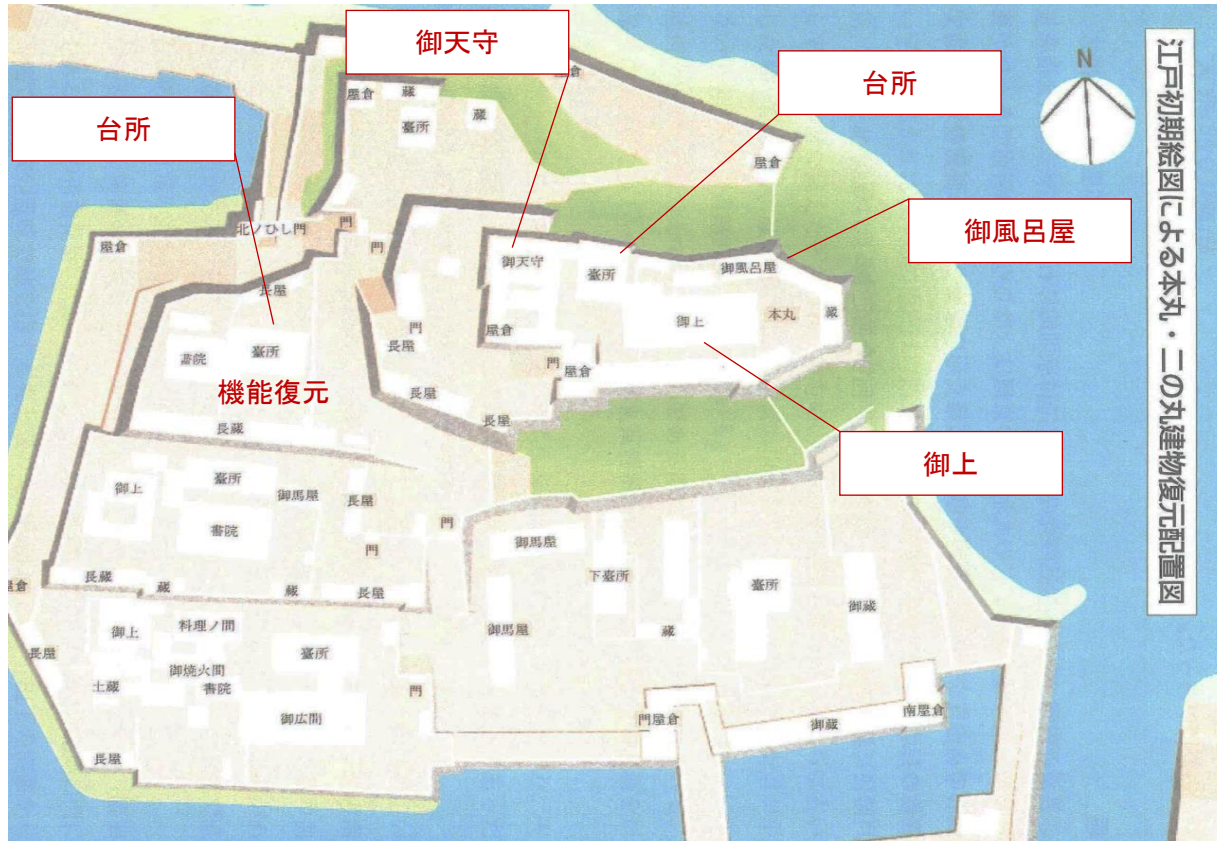
なお、二の丸御殿を政庁や藩邸として使用し始めた時期は定かではない。(寛永4年1627の隠密の記録により、藩主が此の丸(二の丸のことと考えられる)に住んでいることを示す記述があり、これが最初の記述か。)

また、「大洲御城地割」には、**二の丸西曲輪**と北曲輪にも「台所」と表記された建物があり、食料庫もしくは炊事場としての機能をもっていたとも考えられる。

今回、**二の丸西曲輪には仮設形式の建物ではあるが、炊事場としての機能復元**を行うこととしたい。

江戸初期 1617頃 加藤貞泰入城の頃の絵図

※計画図の可能性もあり



⑥『大洲御城地割』加藤家蔵 市立博物館保管

- ・本丸に御天守、御上、御風呂屋、台所があり、加藤貞泰が入城した当時は、本丸を実用的に使用した可能性がある。
- ・復元報告書より、天守1階は畳敷きで建具が用いられた可能性が高い。
- ・大洲城は慶長年間の天守であり、天守1階は城主の間として用いられた可能性がある。

1 要点

- (1)大洲城の文化財としての**価値と魅力を高める**とともに、合わせて大洲城の**認知度向上**を目的としています。
- (2)文化庁が推進する、文化財を活用した**「Living History」(生きた歴史体感プログラム)**の趣旨に沿った形式で実現しようとするものです。
- (3)一つの案として**「1617年の加藤貞泰の入城」**を再現していきたいと考えています。
- (4)また、地域内での観光消費を高める視点も重要であることから、**特別な体験を提供することで、特別料金をいただく**ことを想定しています。
- (5)**増えた収益は、大洲城に再投資**する仕組みを構築していくこととしています。(文化庁が推進する「好循環の創出」)
- (6)実施体制は、高いサービスと運用能力が必要であることから、大洲市の連携事業者であり、**歴史的建築物の活用実績のあるバリューマネジメント(株)と地域DMOの(一社)キタ・マネジメントの共同事業**として実施する予定です。

(7) **2019年度に実証実験**を実施する予定で進めています。

(8) 歴史に基づいた特別な体験の企画に当たっては、**検討委員会により**、利用方法をはじめ歴史考証など意見を調整しながら進めていくこととします。

(9) 実証実験の成果は、**実施計画**に反映することとします。

(10) あわせて、市民からの要望の強い城山での**カフェレスト空間を二の丸西曲輪に設置**することで、賑わいを創出し、城山公園としての魅力を高めていきたいと考えています。

※平成31年春から桜まつり期間中の屋台の出店がなくなりました。

(11) 大洲市では、この城主体験の取り組みを契機として、将来の人口減少期においても**持続可能な官民連携による城郭整備のあり方を提案し、未来の文化財をまもり、つくり、技術を継承していくことを実現**してまいります。

2 留意点

(1) 滞在宿泊型の城主体験

滞在型の城主体験として**天守1階での宿泊を想定**しており、利用者の安全を確保するため建築基準法、消防法などの**法令を遵守**します。

(2) 秩序の確保

復元天守・多聞櫓及び重要文化財櫓の改変は行わず実施していくことを条件とします。

無秩序な利用を制限するため、常設の監視カメラにより**24時間体制により秩序と利用者の安全を確保**します。

城主体験の利用者の利便性を確保するため、**トイレは市所有のトイレカー**で対応します。

また、**浴室は二の丸西曲輪のカフェレスト空間に設える**ことを予定しています。

(3) 一般観覧客への配慮

一般観覧客の利用に配慮し、**閉館後の17時から翌朝9時までに終了**するものとして計画することとします。

(4)開催日数等の制限

実施計画においては、春、秋の気候の良い時期を中心に**年間30日程度の開催**を予定したいと考えています。

また、桜まつり等の地域イベント開催時には、地域住民等の利用の妨げにならないよう柔軟な運用で対応することとして計画します。

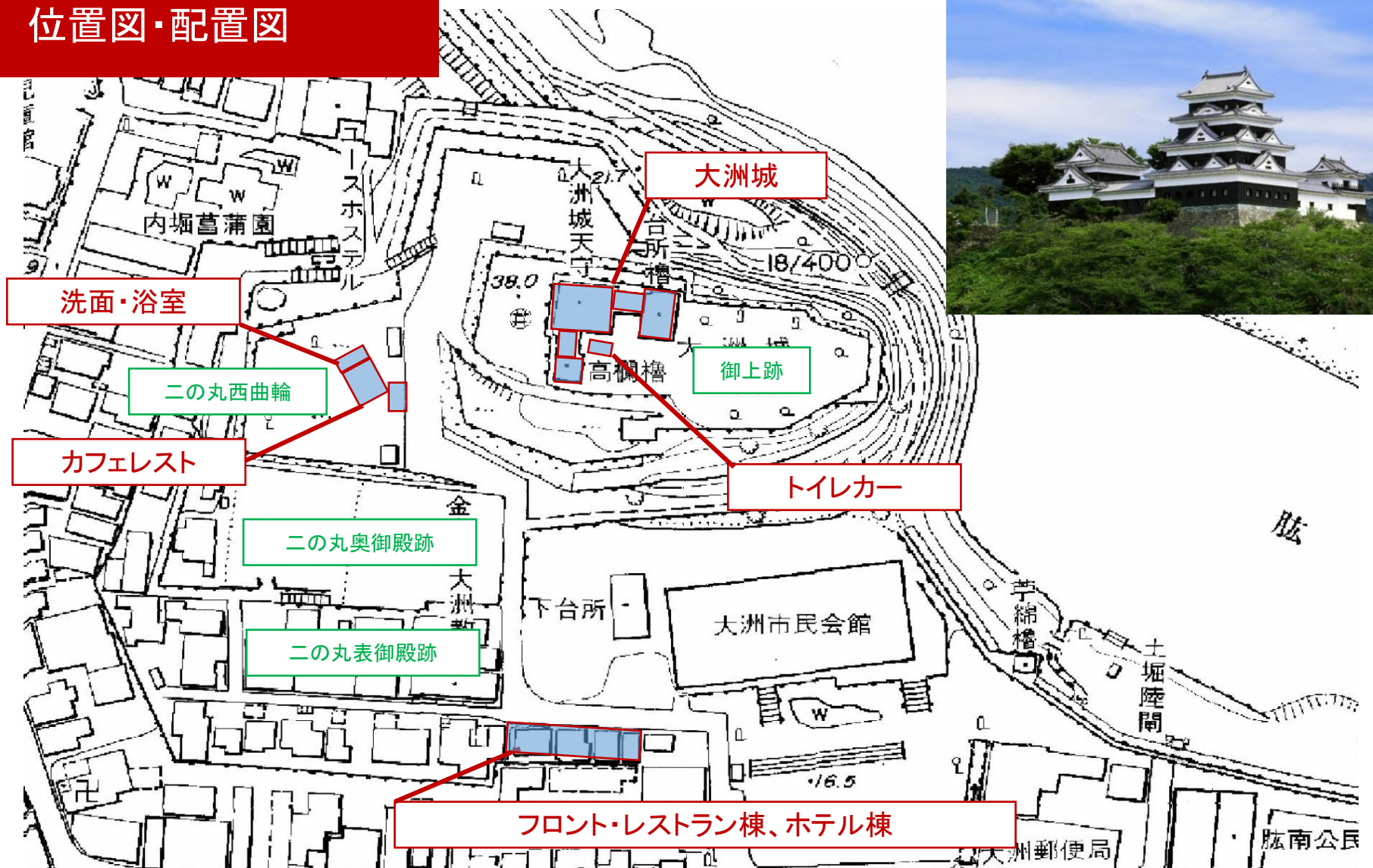
(5)町並みの保全と活用との相乗効果

地域の大切な資源である城下町の町並みを観光に活用することで、保全を図ることとしています。(歴史的資源を活用した観光まちづくり事業)

肱南地区には観光客向けの宿泊施設が不足しており、地域DMOにおいては、町並みを活用した分散型ホテルやレストラン、ショップ等への改修を計画しています。

大洲城での城主体験及びカフェレスト空間の創出は、こうした**一連の城下町活用の取り組みに相乗効果**を与えていくことも期待しています。

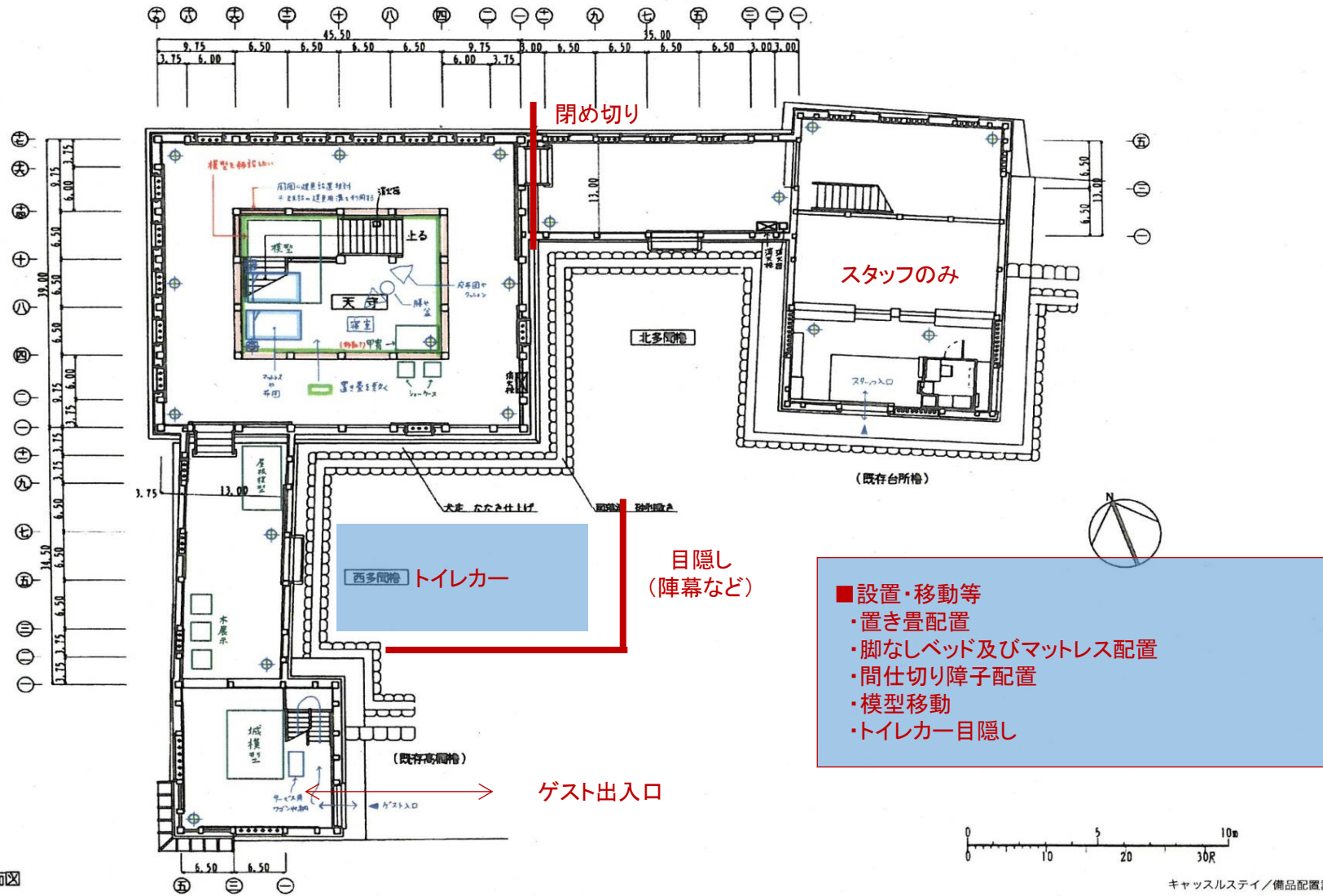
位置図・配置図



※江戸初期の絵図「大洲御城地割」には、本丸に「御上」、「御風呂屋」と表示される建物表記があり、現存する台所櫓は「台所」と表記され、1617年に加藤貞泰が入城した当時は、天守をはじめとした本丸を実用的に使用した可能性が高い。

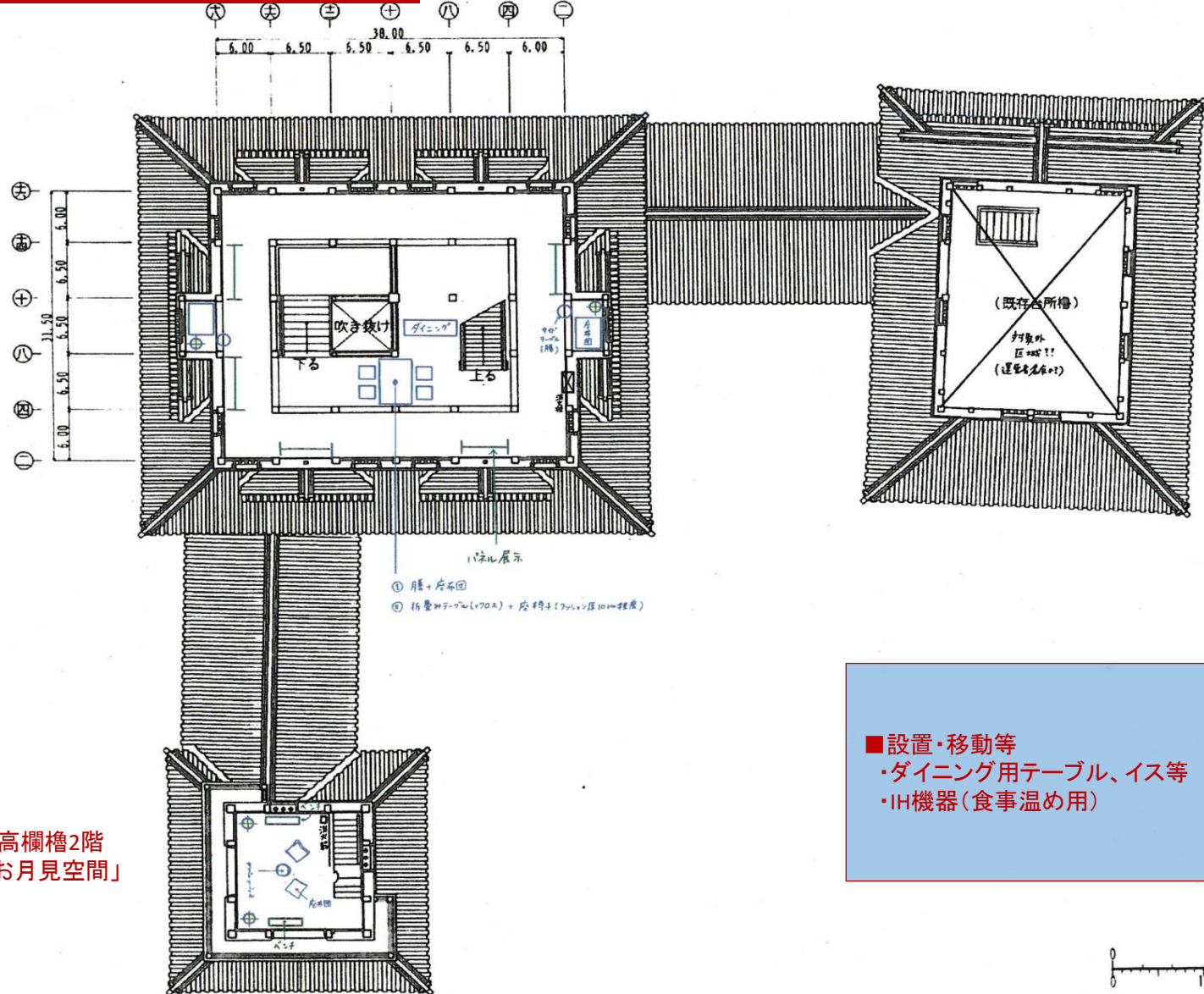
城内配置図(1階)

— 既設品(展示品)
 ⊕ スタンド照明



城内配置図(2階)

— 展示品(展示品)
 ⊕ スタンド照明

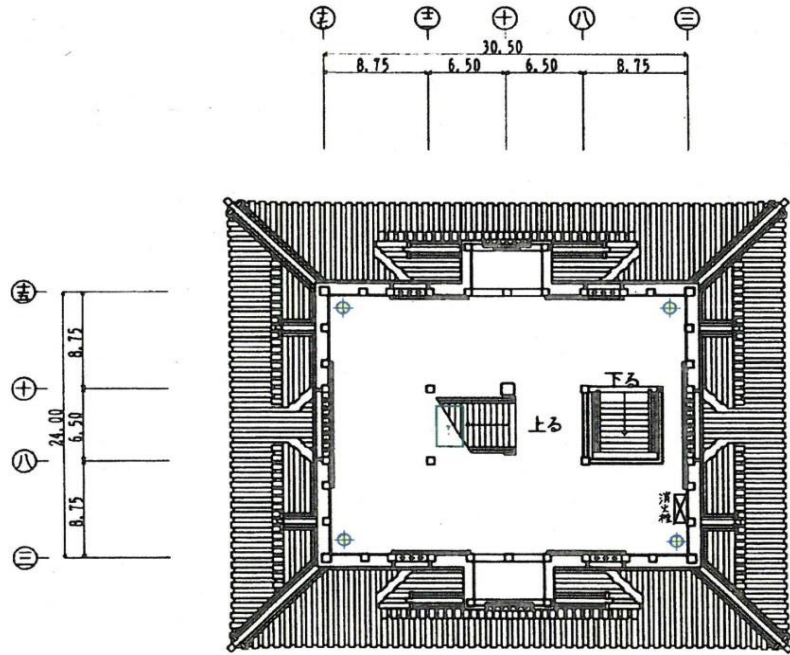


高欄檜2階
 「お月見空間」

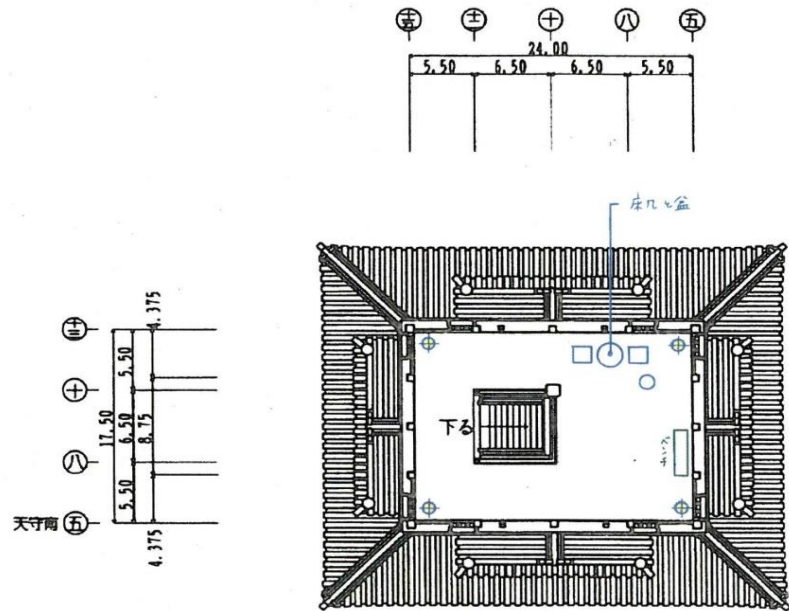
二階平面図

城内配置図(3・4階)

— 既存品(展示品)
 ⊕ スタンド照明



三階平面図



四階平面図

■ 設置・移動等(4階のみ)
 ・床几と盆

搬入什器類リスト

NIPPONIA/大洲_キャッスルステイ

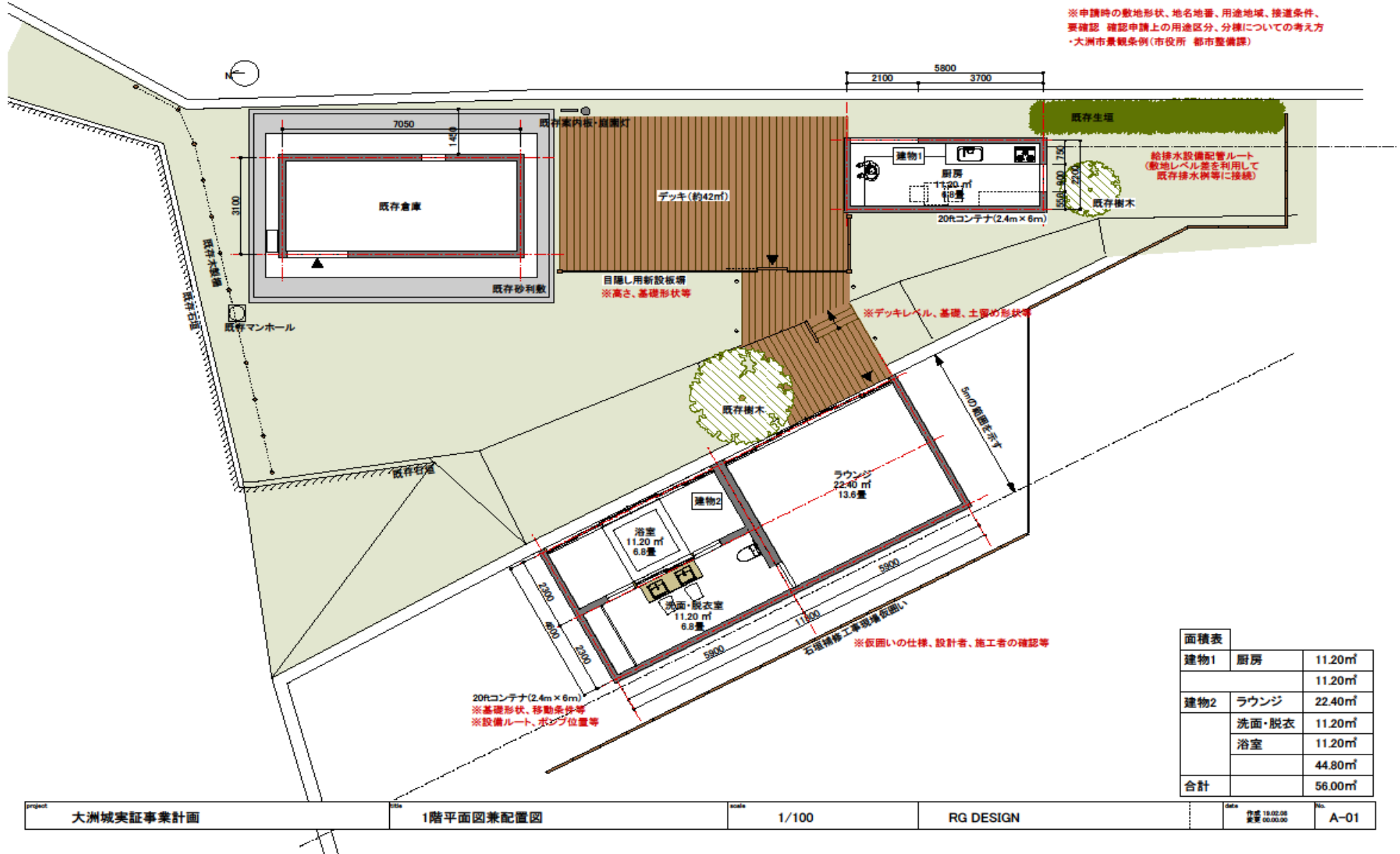
Topic	数量	単位重量		重量合計	備考
		(kg)	(kg)		
▼ A 天守				637.90	
▼ 各階共通				140.00	
<ul style="list-style-type: none"> フロアスタンド <small>実際は1種類でなく複数種類となる</small>	28	5.00		140.00	
▼ 1F				414.10	
<ul style="list-style-type: none"> 座卓 	1	14.50		14.50	
<ul style="list-style-type: none"> 座布団 	4	1.20		4.80	
<ul style="list-style-type: none"> 大型クッション <small>ソファのように使えるビーズクッション系</small>	2	5.90		11.80	
<ul style="list-style-type: none"> ベッド (セミダブル/脚無し) 	2	30.00		60.00	
<ul style="list-style-type: none"> マットレス (セミダブル) 	2	10.50		21.00	
<ul style="list-style-type: none"> 間仕切り建具 	26	4.50		117.00	既存の2枚はそのまま流用し、現存しない26枚を障子にする案
<ul style="list-style-type: none"> 畳 <small>縁あり/い草</small>	20	8.00		160.00	
<ul style="list-style-type: none"> サービスワゴン 	1	25.00		25.00	
▼ 2F				68.80	
▼ ダイニングエリア				27.80	
<ul style="list-style-type: none"> 御膳 	4	1.50		6.00	
<ul style="list-style-type: none"> 折りたたみテーブル+クロス <small>座卓高さ</small>	1	7.00		7.00	
<ul style="list-style-type: none"> 座布団 	4	1.20		4.80	
<ul style="list-style-type: none"> サイドテーブル 	2	3.00		6.00	
<ul style="list-style-type: none"> くつろげるクッションA 	2	2.00		4.00	
▼ ダイニングエリア(サービス)				34.00	
<ul style="list-style-type: none"> 作業台 	1	30.00		30.00	
<ul style="list-style-type: none"> IHヒーター 	2	2.00		4.00	
▼ 物見台エリア				7.00	
<ul style="list-style-type: none"> くつろげるクッションB 	2	2.00		4.00	
<ul style="list-style-type: none"> サイドテーブル 	1	3.00		3.00	
▼ 3F				0.00	
<ul style="list-style-type: none"> 無し 	0	0.00		0.00	

NIPPONIA/大洲_キャッスルステイ

Topic	数量	単位重量		重量合計	備考
		(kg)	(kg)		
▼ 4F				15.00	
<ul style="list-style-type: none"> 床几(しょうぎ) 	2	5.00		10.00	
<ul style="list-style-type: none"> 盆(サイドテーブル的) 	1	5.00		5.00	
▼ 別途事業主用意					
<ul style="list-style-type: none"> 布団類 					
<ul style="list-style-type: none"> リネン関係 					

※本リストは、建築基準法上の最大重量を算出するものであり、今後変更の可能性があります。

カフェレスト配置図



面積表		
建物1	厨房	11.20m ²
		11.20m ²
建物2	ラウンジ	22.40m ²
	洗面・脱衣	11.20m ²
	浴室	11.20m ²
		44.80m ²
合計		56.00m ²

project	大洲城実証事業計画	plan	1階平面図兼配置図	scale	1/100	design	RG DESIGN	date	作成 18.02.08 変更 00.03.00	no.	A-01
---------	-----------	------	-----------	-------	-------	--------	-----------	------	----------------------------	-----	------

■大洲城入城体験プログラム案

本案は、たたき台であり、今後検討を要するものです。

1 日 目

時間イメージ	場所	項目	シーン	内容
15:00	松山空港	お迎え	赤毛髭に導かれてリムジンでお迎え	旅の始まりとなるお出迎え。第一印象で旅のクオリティが決定づけられると言っても過言ではありません。当該顧客の旅の一切を担当する専任スタッフが迎えに上がります。 リムジン乗車に際しては、赤毛髭を数きVIP感の演出を。(毛髭は大きくなり過ぎないように短尺のカーペットでの対応を検討)
15:05	リムジン内	チェックイン	リムジン乗車が旅の始まり	まずは車内でおしぼりやお水を提供。(ご要望によりアルコール類などのドリンクも)旅の移動の疲れを取っていただき、その後車中でチェックイン。
15:10		移動	松山空港から大洲市へ	移動中は旅のプログラムの説明はもちろんのこと、大洲市の歴史や文化について、プレゼンテーションします。
16:15	龍護山曹溪院	参拝・見学	大洲藩主加藤家菩提寺にて参拝	大洲市に入ったら、まずは龍護山曹溪院に城主としての一日過ごすことの報告を兼ねた参拝を。旅の無事を祈願します。(宗教上の理由で参拝できない方は、見学のみ)
16:20		移動		
16:30	旧加藤家住宅主屋	見学	大洲藩主加藤家と大洲市の歴史に触れる	旧藩主の子孫が建築した旧加藤家住宅は外観からの見学のみとなりますが、併設する埋蔵文化センターで大洲市の歴史について説明を受けます。
16:45	大洲城三の丸南隅櫓	着替え	城主になりきる変装	入城に際しての着替えを大洲城の櫓で最も古い、三の丸南隅櫓で行なっていただくことで、徐々に期待感を煽ります。入城におけるシーン想定は、遠征からの殿の帰還②江戸からの帰還。①の場合、男性は甲冑に。②の場合は袴姿。女性はともに和装で。
17:15	行列	移動	いざ大洲城へ!	三の丸南隅櫓から大洲城へは、男性は馬丁が引く馬で、女性は人力車で移動。旗を持った足軽役などが先導する演出も検討。
17:30	大洲城	入城の合図	法螺貝が主君の帰還を合図する	法螺貝の合図により鉄砲隊他、主君の帰還を迎える準備を整える
		入城	城主入城に際し、セレモニースタート	城主が入城しセレモニーを始める。 ①鉄砲隊をはじめとする関係者の歓待 ②城主の証として、鉄砲隊による高位の敬礼として「捧げ銃」。 ③城主が(甲冑の場合)采配を振る、もしくは(袴の場合)合図で、鉄砲隊長の号令にて発砲。めでたく城主として大洲城をお楽しみいただけます。(記念撮影あり)



■大洲城入城体験プログラム案

本案は、たたき台であり、今後検討を要するものです。

1 日目

時間イメージ	場所	項目	シーン	内容
17:50	コンテナハウス	着替え	ラグジュアリーな城主タイムの準備	甲冑や袴、和装では大洲城を見学するのは危険なため、浴室などのご案内も含め、まずはコンテナハウスにご移動いただき、過ごしやすいように、ラウンジにて普段着にお着替えいただけます。
18:05	大洲城	見学	城主、大洲を眺む	着替えが済んだら、天守閣をご案内。大洲城の歴史や復元に関するストーリーをプレゼンテーション。その後、天守閣4Fより見渡す大洲市のまち並や肱川の展望をご覧いただけます。
18:30	北曲輪	薪能の鑑賞	日本のオペラ「能」を屋外で独占鑑賞	あらかじめ天守閣を背景に仮設でデッキを組んだステージを舞台に能を演舞。城主にはソファにお座りいただき、食事前のアペリティフを片手に、薪能をご鑑賞いただけます。季節によっては薄暮の時間となり、幻想的な雰囲気为非日常を演出します。 ※雨の場合は場内で要検討
19:00	大洲城天守閣・2F	ディナー	遠くの笛の音を耳に、大洲の地産地消に舌鼓	殿様御膳を提供す流のは、現代では質素な食事を感じられるので、大洲の特産品を使用したコース料理でお楽しみいただけます。演出として城外で笛の演奏を。静かな大洲の夜に当時の趣を感じる、他ではできない体験を。
21:00-Aパターン	肱川	ナイトクルーズ	肱川から仰ぎ見る、夜の大洲城	ディナーの後は屋形船で臥龍山荘へ。肱川から観るライトアップされた大洲城を見るのも、城主として許された者の特権。
21:30-Aパターン	臥龍山荘	ナイトラウンジ	夜の帳が下りた臥龍山荘で、何もしない贅沢な時間	屋形船を降りて、臥龍山荘へ。閉館後の誰もいない夜の帳が下りる臥龍山荘を貸し切って、ひとときのラグジュアリータイムを。肱川に反射する月光を集めた不老庵の天井を眺め、軽く食後酒をいただき、夜のしじまを感じる、特別な時間をお過ごしいただけます。
22:00-Aパターン		移動(車)		
21:00-Bパターン	大洲城高欄櫓	お月見	高欄櫓の本来の価値を体験	もともと月見櫓の意味合いを持つと言われ、そのために高欄がある珍しい櫓とされているこの高欄櫓で、城下町を一望しながら、月を眺める。食後酒を口にしながら何もしない時間をお過ごしいただけます。
22:10	コンテナハウス	入浴	大洲城を眺め、一日の疲れを癒す	コンテナハウスの浴室から大洲城を眺め、体を休めていただけます。湯上がりは愛媛シルクのバスローブで。
23:00	大洲城天守閣・1F	就寝	城主、おやすみになる	明日の予定に控えて就寝。バトラーは待機。



■大洲城入城体験プログラム案

本案は、たたき台であり、今後検討を要するものです。

2 日目

時間イメージ	場所	項目	シーン	内容
6:00	大洲城天守閣・1F	起床	江戸時代と同じ、起床時間に起きる	城主の起床を確認したら、小姓が「城主お目覚め」と大きく触れを出す。そして2日目が始まります。 ※入浴をご希望の場合、コンテナハウスにアテンド。
6:30		移動(車)		城主移動中に、お荷物をコンテナハウスに移動しておく
6:45	臥龍山荘	リトリート		瞑想
		移動(車)		
7:30	北曲輪	朝食	大洲城天守の麓で力をつける	前日の薪能用仮設ステージにテーブルを設置。大洲城天守閣を背景に、脇川を眺める好立地で、清々しい朝の空気に包まれ、朝食を。
8:30	コンテナハウス	チェックアウト	城主体験最後のセレモニーとともに	天守閣にお戻りいただき、チェックアウトのご準備をいただきます。 チェックアウトの後は御上跡にて最後のセレモニー。大洲市が発行する限定城主証明書の授与と記念撮影を。証明書・写真はともに追って発送。発送の際は御礼の一言を添えて、城主体験中、密かに撮影したスナップをアルバムにして同梱。旅アトの満足度を提供します。
8:45		出立		
9:00	少彦名神社	見学	ひっそり佇む少彦名神社へ	チェックアウト後は大洲城下町は商業施設等開業前のため、少彦名神社へと。懸け造り建築で一見の価値ある、大洲の観光スポットで朝の参拝を。
9:30	大洲城下町	散策	ぶらり大洲城下町	1日目の城主体験からチェックアウトまで、体験プログラム中心の旅でほぼ自由時間がなかったこともあり、まちの散策はご自由にしていただきます。 ※希望によりアテンドあり。またランチのオプションも準備 お帰りの飛行機(もしくは電車)に合わせて、指示いただいた場所までお迎えにあげます。 ※最終のご案内は14:00まで
(15:00)	松山空港	旅の終わり	24時間城主、お勤めありがとうございました	※最終のハイヤー出発時間14:00にて松山空港15:00着。 24時間の旅プランの終了となります。

